

京ちゃん、あれから2年

2年前の今日、人工呼吸器をつけて普通学級へ元気に通う、林京香さん＝京ちゃんと初めて対面した。まさに「きょう」だ。場所は名古屋市大人文社会学部棟横の障害者用駐車スペースだ。緊張気味に1階の会議室に案内した。

じつは1週間前に、ある卒業生からメールが届いた。名市大病院のホールで開催する京ちゃんらの「講演会」呼びかけを学生にできないか、という依頼であった。とにかく、趣旨には賛同して時間帯などを調整した。

その結果、11月5日（火）午後3限の講義なら依頼できることになった。退職も近く迷ったが、卒業生の「依頼」に応えることにした。わたしの講義はなく、滝村さんと阪井さんの講義でお願いした。講義の途中などに、ご両親が京ちゃんを紹介して、学生に「講演会」を案内した。この時、私も京ちゃんのことを直接聞いた。学生も熱心に耳を傾けてくれた。急なことで初めてでもあり、まごつきながらも、依頼になんとか応えられて嬉しかった。

帰り際に、数日後の大学祭のことを話したら、ぜひとも来てみたいとのことだった。写真は当日、京ちゃんたちの到着を待っていたときに撮ったものだ。



前にもレポートしたが、連絡がうまくいかず、京ちゃんが大学に到着したか分からなかった。今日は会えないと思いつつ、6階研究室ベランダから下をのぞいていたら、偶然にも京ちゃんらしい姿を目にした。我ながら、本当にびっくり。この当時は、まだまだ目がよく見えたものだ。

エレベーターでなく、とにかく階段をかけ降りた。そして東門近くで撮った記念すべき写真がこれである。京ちゃんと妹「ちーちゃん」だ。なんとも仲の良さそうな2人「きょうちー」だ。



「きょうちー」と偶然に会って、あれから2年になる。わたしは定年退職して大学を去ったが、二人は小学4年と2年の元気盛りだ。ご両親の苦労も多いだろうが、京ちゃんご家族から、いつも鍼灸のように温かい「元気」をもらっている。

(2015年11月5日)